

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人睦学園

(2) 大学名

兵庫大学

(3) 大学の位置

〒675-0195

兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	ワタナベ アズマ 渡邊 東 (平成20年1月15日)		
学長	コウノ マコト 河野 真 (平成28年7月1日)		
学部長	ナガオ ミツシロ 長尾 光城 (平成29年4月1日)		
学科長等	ナガオ ミツシロ 長尾 光城 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4 年	90 人	- 年次 人	360 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 (-) [-]								1.21倍	
志願者数	626 (-) [-]									
受験者数	600 (-) [-]									
合格者数	152 (-) [-]									
B 入学者数	109 (-) [-]									
入学定員超過率 B/A	1.21									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	110 [-] (-)	— [-] (-)							
2年次	/								
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	110 [-] (-)								

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	110 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		- %
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		- %
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	0 人	平成32年度	人	人		- %
合 計	110 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
共通教育科目	建学の精神 宗教と人生 仏教と現代社会 兵庫大学の学びと和	1後										兼 1 兼 1 兼 2 教育課程充実のための科目追加 (29)	
		1前	2										
		1後		2									
	コミュニケーション	日本語 (読解と表現)	1前	2									兼 2 担当教員辞退のための教員変更 (29)
			1前	2									兼 3 兼 1 兼 3 教育内容充実のための教員追加 (29)
		英語	1後		2								兼 1 兼 1
			2前		2								兼 1
			2後		2								兼 1
			1前		2								兼 1
		韓国語 (初級)	1前		2								兼 2 教育内容充実のための教員追加 (29)
			1後		2								兼 1
		韓国語 (中級)	1前		2								兼 2 教育内容充実のための教員追加 (29)
			1後		2								兼 1
	コンピュータ演習 コンピュータグラフィックスの基礎	1前	2									兼 3 教育内容充実のための教員追加 (29)	
		1後		2								兼 1 兼 2 教育内容充実のための科目追加 (29)	
	国際理解	国際理解と宗教Ⅰ (キリスト教)	1前		2								兼 1 兼 1 担当教員辞退のための教員変更 (29)
			1後		2								兼 1
		国際社会と宗教Ⅱ (イスラム教)	1後		2								兼 1
			1後		2								兼 1
	歴史と文化	歴史学	1前		2								兼 1 兼 1 担当教員辞退のための教員変更 (29)
			1前		2								兼 1
		文学 芸術 色彩とデザイン	1後		2								兼 1
			1前		2								兼 1
	地域に学ぶ	地域文化論	1後		2								兼 1 兼 1 教育内容充実のための科目追加 (29)
			1後		2								兼 1
		建築デザインと地域 地域と文化財 地域資料を読む	1前		2								兼 1 教育内容充実のための科目追加 (29)
			1後		2								兼 1 教育内容充実のための科目追加 (29)
	現代社会を読み解く	哲学 法と社会 日本国憲法 人権の歴史 政治学 社会学 経済学 現代社会の理解	1後		2								兼 1
			1後		2								兼 1
1前				2								兼 1	
1前				2								兼 1	
1前				2								兼 1	
1前				2								兼 1	
1前				2								兼 1	
1前				2								兼 1 教育内容充実のための科目追加 (29)	
自然と科学	生命倫理学 心理学 化学 生物学 身のまわりの科学	1後		2								兼 1	
		1前		2								兼 1	
		1前		2								兼 1	
		1後		2								兼 1	
くらしと健康	食と健康 健康・スポーツ科学Ⅰ (講義) 健康・スポーツ科学Ⅱ (演習) 健康・スポーツ科学Ⅲ (演習)	1後		2								兼 1 兼 2 教育内容充実のための教員追加 (29)	
		1後		2								兼 1	
		1前		2								兼 1 担当教員辞退のための教員変更 (29)	
		1前		2								兼 1	
くらしと健康	健康・スポーツ科学Ⅲ (演習)	1後		2								兼 1 担当教員辞退のための教員変更 (29)	
		1後		2								兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	キャリアデザイン	私のためのキャリア設計	1前	2							兼1		
専門教育科目	I群 (健康支援と社会保障制度)	社会福祉論	1後	2							兼1	久井准教授の退職に伴う教員変更 (29) 教育内容充実のための教員追加 (29) 科目名称表現方法統一のための科目名称変更 (29)	
		人間関係論 (カウンセリングを含む)	2前	2							兼1		
		家族関係論	1後	2							兼1		
		精神保健	1後	2							兼1		
		環境保健学	3前	1		1					兼1		
	II群 (人体の構造と機能)	保健医療福祉行政論	2後	2				1					
		公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2				1					
		公衆衛生学 (疫学含)	2後	2				1					
		保健統計学	2前	2								兼1	
		生物基礎	1前	2								兼2	担当教員辞退のための教員変更 (29)
	III群 (疾病の促進)	化学基礎	1前	2			1					兼2	担当教員辞退のための教員変更 (29)
		形態機能論 I	1前	2			1					兼3	担当教員辞退のための教員変更 (29)
		形態機能論 II	1後	2			1					兼3	担当教員辞退のための教員変更 (29)
		生化学	1後	2		2						兼1	担当教員辞退のための教員変更 (29)
		栄養学 (食品学を含む)	1後	2								兼2	教育内容充実のための教員追加 (29)
IV群 (基礎看護学)	薬理学	2前	2			1					兼4	教育内容充実のための教員追加 (29)	
	免疫・微生物学	1後 2後	2			1						関連する科目と連動して履修させることが適切であるため配当時期を変更 (29)	
	臨床病理病態学 I (内科系)	2前	2			1							
	臨床病理病態学 II (内科系)	2後	2			1							
	臨床病理病態学 III (外科系)	2後	2			1							
臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2前	2					1			兼1			
専門実践科目	IV群 (基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1						
		看護理論	1後	1			1						
		ヘルスアセスメント	2前 1後	1			1	1	1	1	2		関連する教育内容を十分に学生に理解させた上で当科目を履修させることが適切であるため配当時期を変更 (29) 掛川静代助教退職に伴う教員変更 (29)
		看護技術論 I (生活援助技術)	1後								5		関連する教育内容を十分に学生に理解させた上で当科目を履修させることが適切であるため配当時期を変更 (29)
		看護技術論 I (生活技術援助)	1前	2			1	1	1	1	2		科目名称表現方法統一のための科目名称変更 (29) 掛川静代助教退職に伴う教員変更 (29) 教育内容充実のための教員追加 (29)
		看護技術論 II (診療補助技術)	1後								5		関連する教育内容を十分に学生に理解させた上で当科目を履修させることが適切であるため配当時期を変更 (29)
		看護技術論 II (診療技術援助)	2前	2			1	1	1	1	2		科目名称表現方法統一のための科目名称変更 (29) 教育内容充実のための教員追加 (29) 掛川静代助教退職に伴う教員変更 (29)
看護技術論 III (看護過程)	2後	1			1	1	1	1	2		掛川静代助教退職に伴う教員変更 (29)		

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専門教育科目 専門実践科目	IV 群 (基礎看護学)	基礎看護学実習 I	1 後	1			1	1	1	3	7	9	担当教員辞退に伴う変更 (29) 掛川静代助教退職に伴う担当 教員変更 (29) 助手退職に伴う変更 (29) 担当教員調整に伴う変更 (29) 掛川静代助教退職に伴う担当 教員変更 (29) 助手退職に伴う変更 (29)
		基礎看護学実習 II	2 後	2			1	1	1	3	7	9	
		看護教育学	4 前	1			1						
		看護倫理	4 前	1				1					
		看護管理学	3 前	1			1						
	V 群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2 前	2			1	1	1				科目名称表現方法統一のため の科目名称変更 (29) 廣田真里助教の講師昇任に伴 う変更 (29) 科目名称表現方法統一のため の科目名称変更 (29) 廣田真里助教の講師昇任に伴 う変更 (29) 廣田真里助教の講師昇任に伴 う変更 (29) 廣田真里助教の講師昇任に伴 う変更 (29) 廣田真里助教の講師昇任に伴 う変更 (29) 瀧本茂子准教授退職に伴う担 当教員変更 (29) 瀧本茂子准教授退職に伴う担 当教員変更 (29) 瀧本茂子准教授退職に伴う担 当教員変更 (29) 瀧本茂子准教授退職に伴う担 当教員変更 (29)
		成人看護援助論 I (急性 期)	3 前	2					4				
		成人看護援助論 I -(生命危機状態にある人)-			1	1	3	4	1				
		成人看護援助論 II (慢性 期)	3 前	2					4				
		成人看護援助論 II -(常態の維持・増進が困難な人)-			1		3	4	1				
		成人看護学実習 I	3 後	3			1	1	3	4		1	
		成人看護学実習 II	3 後	3			1	1	3	4		1	
		老年看護学概論	2 前	2			1		4				
		老年看護援助論	3 前	2			1		4		1		
		老年看護学実習 I	3 後	2			1		4		1	2	
	老年看護学実習 II	3 後	2			1		4		1	2		
	VI 群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2 前	2			1						小島賢子准教授退職に伴う教 員変更 (29) 小島賢子准教授退職に伴う教 員変更 (29) 小島賢子准教授退職に伴う教 員変更 (29)
		母性看護援助論	3 前	2			1		2				
		母性看護学実習	3 後	2			1		2			1	
		小児看護学概論	2 後	2					4				
		小児看護援助論	3 前	2					4				
		小児看護学実習	3 後	2			1		4			1	
	VII 群 (精神・在宅・公衆衛 生看護学)	精神看護学概論	2 後	2			1						兼 1 助手退職に伴う変更 (29) 教育内容充実のための教員追加 (29) 教育内容充実のための教員追加 (29)
		精神看護援助論	3 前	2			1						
		精神看護学実習	3 後	2			1					1	
		在宅看護概論	2 後	2			1						
		在宅看護援助論	3 前	2			1		1				
		在宅看護実習	4 前	2			1		1			1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	VII群 (精神・在宅・公衆衛生看護学)	公衆衛生看護学概論	2後	2			1	4				久井志保准教授退職に伴う教員変更 (29)	
		健康教育論	3前	1			1	4				久井志保准教授退職に伴う教員変更 (29)	
		学校保健概論	2後	1						1			
		災害看護学 災害看護学(災害保健を含む)	4前	1							1		科目名称表現方法統一のための科目名称変更 (29)
	VIII群 (看護の統合と実践)	基礎ゼミ	1前	2				10 40	2 5	9 9	1 3		掛川静代助教退職に伴う教員変更 (29) 廣田真里助教の講師昇任に伴う変更 (29)
		看護研究 I 看護研究 I(基礎編)	2前	2				13 40	2 5	10 9	1 2		科目名称表現方法統一のための科目名称変更 (29) 瀧本茂子准教授、小島賢子准教授、久井志保准教授、掛川静代助教退職に伴う教員変更 (29) 教育内容充実のための教員追加 (29)
		看護研究 II 看護研究 II(応用編)	4通	2				13 40	2 5	11 9	1 3		科目名称表現方法統一のための科目名称変更 (29) 瀧本茂子准教授、小島賢子准教授、久井志保准教授、掛川静代助教退職に伴う教員変更 (29) 教育内容充実のための教員追加 (29)
		リスクマネジメント論	3前	1							1		
		国際看護学 I	2後	1							1		
		国際看護学 II	3前		1						1		
	看護の統合と実践実習	3後	2				6	2 5	8	1 2	5		瀧本茂子准教授、小島賢子准教授、久井志保准教授、掛川静代助教退職に伴う教員変更 (29) 教育内容充実のための教員追加 (29)
	IX群 (保健師関連)	疫学	2前		2			1					久井志保准教授退職に伴う教員変更 (29)
		公衆衛生看護学活動展開論	3前		2			1	4	1			久井志保准教授退職に伴う教員変更 (29)
		健康相談活動の理論と実践	3前		2						1		久井志保准教授退職に伴う教員変更 (29)
		産業保健論	3前		1				4				久井志保准教授退職に伴う教員変更 (29)
公衆衛生看護学実習 I		3後		1			1	4	1		4	助手退職に伴う変更 (29)	
公衆衛生看護学実習 II		4通		4			1	4	1		4	久井志保准教授退職に伴う教員変更 (29) 助手退職に伴う変更 (29)	
公衆衛生看護学特論		4後		1				4				久井志保准教授退職に伴う教員変更 (29)	
教 x 群 (養護関連)	学校保健活動論	3前		2					1				
	学校保健演習	3後		2					1				
	養護概説	2後		2					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職に関する科目	教職概論	1前		2							兼1	担当教員辞退による教員変更(29)
	教育原理	1前		2							兼1	
	教育心理学	2後		2							兼1	
	教育制度論	1後		2							兼1	
	教育課程論 (道徳、特別活動を含む)	2後		2							兼1	
	教育方法・技術論	2後		2							兼1	
	生徒指導論	2前		2							兼1	
	教育相談 (カウンセリングを含む)	1後		2							兼1	
	教職実践演習(養護教諭)	4後		2					1			
	養護実習 (事前事後指導を含む)	4通		5					1			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 60	科目 60	科目 0	科目 120	科目 60	科目 67	科目 []	科目 127	
				[]	[7]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{120} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	兵庫大学短期大学部と共用					
	校舎敷地	0 m ²	73,964 m ²	0 m ²	73,964 m ²						
	運動場用地	0 m ²	9,600 m ²	0 m ²	9,600 m ²						
	小 計	0 m ²	83,564 m ²	0 m ²	83,564 m ²						
	そ の 他	0 m ²	9,715 m ²	0 m ²	9,715 m ²						
	合 計	0 m ²	93,279 m ²	0 m ²	93,279 m ²						
(2) 校舎	専 用	1,795m ² 2,563m ²	27,297m ² 28,301m ²	1,967m ²	31,059m ² 32,831m ²	兵庫大学短期大学部と共用					
	(1,795m ²)	(27,297m ²)	(1,967m ²)	(31,059m ²)							
	(2,563m²)	(28,301m²)	(1,967m²)	(32,831m²)							
(3) 教室等	講義室	27室	演習室	26室	実験実習室	30室	情報処理学習施設	4室 (補助職員 3人)	語学学習施設	室 (補助職員 人)	大学全体 兵庫大学短期大学部と共用
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数					
		看護学部 看護学科			25 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位での特定不能のため、大学全体の数			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
	冊	種	点	点	点						
	看護学部 看護学科	53,557 [6,741] (53,873 [6,754])	1,756 [256] (1,706 [216])	21 [18] (9 [6])	5,978 (5,972)	5,808 (5,768)	230 (220)				
計	53,557 [6,741] (53,873 [6,754])	1,756 [256] (1,706 [216])	21 [18] (9 [6])	5,978 (5,972)	5,808 (5,768)	230 (220)					
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収納可能冊数						
	1,829m ²		270		151,200						
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	2,286m ²		テニスコート4面 運動場								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等		480千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円			
	共同研究費等		1,000千円	設備購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,900千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	一千円	一千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、入学検定料、雑収入等									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	兵庫大学								備考		
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員 人	編入学 定員 人	収定 容員 人	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率 倍	開 設 年 度	所 在 地			
<< A C 対象学部等 >> 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	4	120	3年次 2	484	学士 (現代ビ ジネス)	0.30	平成28年度	兵庫県加古川市 平岡町新在家 2301番地	平成28年より学生 募集停止		
看護学部 看護学科	4	90	-	360	学士 (看護 学)	1.21	平成29年度				
<< 既設学部 >> 経済情報学部 経済情報学科	4	-	-	-	学士 (経済情 報)	-	平成7年度				
健康科学部 栄養マネジメント学科	4	80	3年次 20	360	学士 (栄養 学)	0.69	平成13年度				
健康システム学科	4	40	-	160	学士 (健康科 学)	1.04	平成13年度				
看護学科	4	-	-	-	学士 (看護 学)	-	平成18年度				
生涯福祉学部 社会福祉学科	4	30	-	120	学士 (社会福 祉学)	0.75	平成20年度				
こども福祉学科	4	50	5	210	学士 (こども 福祉)	0.89	平成25年度				
大学の名称	兵庫大学大学院									備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員 人	編入学 定員 人	収定 容員 人	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率 倍	開 設 年 度			所 在 地	
経済情報研究科 経済情報専攻	2	20	-	40	修士 (経済情 報)	0.00	平成11年度	兵庫県加古川市 平岡町新在家 2301番地			

大学の名称	兵庫 大 学 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
保育科第一部	2	100	-	200	短期 大学士 (保育)	0.96	昭和32年度	兵庫県加古川市 平岡町新在家 2301番地	
保育科第三部	3	80	-	240	短期 大学士 (保育)	1.08	昭和46年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	教授	長尾 光城 (65)	平成29年 4月	公衆衛生学 (疫学含む)				平成29年 4月	公衆衛生学 (疫学を含む)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)	
				臨床病理病態学Ⅲ (外科系)							
				基礎ゼミ							
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)		
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)		
専任	教授	小野 晴子 (69)	平成29年 4月	看護管理学							
				老年看護学概論							
				老年看護援助論							
				老年看護学実習Ⅰ							
老年看護学実習Ⅱ											
基礎ゼミ											
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)		
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)		
				看護の統合と実践 実習							
専任	教授	長尾 憲樹 (67)	平成29年 4月	環境保健学							
				基礎ゼミ							
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)		
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)		
専任	教授	新田 幸子 (65)	平成29年 4月	看護教育学							
				在宅看護概論							
				在宅看護援助論							
				在宅看護実習							
				基礎ゼミ						担当辞退による変更 他に教員がいるため 支障はない (29)	
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)		
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)		
				看護の統合と実践 実習							

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	教授	富安 俊子 (60)	平成29年4月	母性看護学概論						担当辞退による変更 天本都講師、中村朋子講師 が担当するため支障はない(29)	
				母性看護学援助論							
				母性看護学実習							
				基礎ゼミ							担当辞退による変更 他に教員がいるため 支障はない(29)
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年4月	看護研究Ⅰ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
			看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年4月	看護研究Ⅱ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)			
			看護の統合と実践 実習								
専任	教授	加藤 知可子 (57)	平成29年4月	精神看護学概論						担当辞退による変更 他に教員がいるため 支障はない(29)	
				精神看護学援助論							
				精神看護学実習							
				基礎ゼミ							
			看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年4月	看護研究Ⅰ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)			
			看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年4月	看護研究Ⅱ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)			
			看護の統合と実践 実習								
専任	教授	石田 宜子 (56)	平成29年4月	成人看護学概論						担当辞退による変更 他に教員がいるため 支障はない(29)	
				成人看護学援助論Ⅰ (生命危機状態にある人)			平成29年4月	成人看護学援助論Ⅰ (急性期)	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
				成人看護学援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人)			平成29年4月	成人看護学援助論Ⅱ (慢性期)	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
				成人看護学実習Ⅰ							
				成人看護学実習Ⅱ							
				基礎ゼミ							
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年4月	看護研究Ⅰ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年4月	看護研究Ⅱ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
			看護の統合と実践 実習								
専任	教授	兒玉 拓 (51)	平成29年4月	薬理学					担当辞退による変更 他に教員がいるため 支障はない(29)		
				免疫・微生物学							
				基礎ゼミ							
			看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年4月	看護研究Ⅰ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)			
			看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年4月	看護研究Ⅱ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)			

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	教授	宮島 多映子 (48)	平成29年 4月	看護学概論							
				看護理論 ヘルスアセスメント							
				看護技術論Ⅰ(生活技術援助)			平成29年 4月	看護技術論Ⅰ(生活援助技術)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
				看護技術論Ⅱ(診療技術援助)			平成29年 4月	看護技術論Ⅱ(診療補助技術)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
				看護技術論Ⅲ(看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ							
				看護研究Ⅰ(基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
				看護研究Ⅱ(応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
				看護の統合と実践実習							
専任	教授	伊藤 純 (42)	平成29年 4月	形態機能論Ⅰ							
				形態機能論Ⅱ							
				臨床病理病態学Ⅰ(内科系)							
				臨床病理病態学Ⅱ(内科系)							
				看護研究Ⅰ(基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
				看護研究Ⅱ(応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)		
				疫学							
					専任 教授	高見 千恵 (49)	平成29年 4月	在宅看護援助論	平成29年 4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)		
			在宅看護実習	平成29年 4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)							
			基礎ゼミ	平成29年 4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)							
			看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)							
			看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)							

設置時の計画					変更状況					備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名			
専任	准教授	小島 賢子 (61)	平成29年 4月	小児看護学概論	専任	教授	森田 恵子 (55)	平成29年 4月	小児看護学概論	小島賢子准教授退職による担当者の変更 森田恵子教授が担当するため支障はない(29)		
				小児看護学実習					小児看護学実習		退職年月：平成29年8月 退職理由：他大学への転出	
				基礎ゼミ					基礎ゼミ			
				看護研究Ⅰ(基礎編)					看護研究Ⅰ			平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)
				看護研究Ⅱ(応用編)					看護研究Ⅱ			平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)
看護の統合と実践実習			小島賢子准教授退職による担当者の変更(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29)									
専任	准教授	瀧本 茂子 (58)	平成29年 4月	老年看護学概論	専任	教授	後任未定	平成29年 4月	老年看護学概論	瀧本茂子准教授退職による担当者の変更 小野晴子教授が担当するため支障はない(29)		
				老年看護学実習Ⅰ					老年看護学実習Ⅰ		退職年月：平成29年3月 退職理由：体調不良による 他に担当教員がいるため 支障はない(29)	
				老年看護学実習Ⅱ					老年看護学実習Ⅱ			
				基礎ゼミ					基礎ゼミ			
				看護研究Ⅰ(基礎編)					看護研究Ⅰ			他に担当教員がいるため 支障はない(29)
				看護研究Ⅱ(応用編)					看護研究Ⅱ			他に担当教員がいるため 支障はない(29)
				看護の統合と実践実習					看護の統合と実践実習			他に担当教員がいるため 支障はない(29)
				看護倫理								
成人看護学概論												
専任	准教授	白神 佐知子 (55)	平成29年 4月	成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	専任	教授	後任未定	平成29年 4月	成人看護学実習Ⅰ (急性期)	成人看護学実習Ⅰ(急性期)		
				基礎ゼミ							平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護研究Ⅰ(基礎編)					看護研究Ⅰ			
				看護研究Ⅱ(応用編)					看護研究Ⅱ			
				看護の統合と実践実習								平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	准教授	久井 志保 (51)	平成29年 4月	保健医療福祉行政論	専任	教授	福川 京子 (53)	平成29年 4月	保健医療福祉行政論	久井志保准教授退職による担当者の変更(29) 福川京子教授、和田光徳兼任教員が担当(29) 退職年月：平成28年11月 退職理由：休職期間満了
				保健医療福祉行政論	兼任	教授	和田 光徳 (57)	平成29年 4月	保健医療福祉行政論	久井志保准教授退職による担当者の変更(29) 福川京子教授、和田光徳兼任教員が担当(29) 退職年月：平成28年11月 退職理由：休職期間満了
				公衆衛生看護学概論	専任	教授	福川 京子 (53)	平成29年 4月	公衆衛生看護学概論	福川京子教授が担当(29)
				健康教育論	専任	教授	石田 宜子 (56)	平成29年 4月	健康教育論	福川京子教授が担当(29)
				基礎ゼミ	専任	講師	石井 久仁子 (54)	平成29年 4月	基礎ゼミ	石井久仁子講師が担当(29)
				看護研究Ⅰ(基礎編)	専任	教授	福川 京子 (53)	平成29年 4月	看護研究Ⅰ	福川京子教授が担当(29)
				看護研究Ⅱ(応用編)					看護研究Ⅱ	福川京子教授が担当(29)
				看護の統合と実践実習					看護の統合と実践実習	福川京子教授が担当(29)
				公衆衛生看護学活動展開論					公衆衛生看護学活動展開論	福川京子教授、石井久仁子講師が担当(29)
				産業保健論	専任	講師	石井 久仁子 (54)	平成29年 4月	公衆衛生看護学活動展開論	福川京子教授、石井久仁子講師が担当(29)
				産業保健論					産業保健論	石井久仁子講師が担当(29)
				公衆衛生看護学実習Ⅰ	専任	教授	福川 京子 (53)	平成29年 4月	公衆衛生看護学実習Ⅰ	福川京子教授、石井久仁子講師が担当(29)
				公衆衛生看護学実習Ⅰ	専任	講師	石井 久仁子 (54)	平成29年 4月	公衆衛生看護学実習Ⅰ	福川京子教授、石井久仁子講師が担当(29)
				公衆衛生看護学実習Ⅱ	専任	教授	福川 京子 (53)	平成29年 4月	公衆衛生看護学実習Ⅱ	福川京子教授、石井久仁子講師が担当(29)
				公衆衛生看護学実習Ⅱ	専任	講師	石井 久仁子 (54)	平成29年 4月	公衆衛生看護学実習Ⅱ	福川京子教授、石井久仁子講師が担当(29)
公衆衛生看護学特論	専任	教授	福川 京子 (53)	平成29年 4月	公衆衛生看護学特論	福川京子教授、石井久仁子講師が担当(29)				
公衆衛生看護学特論	専任	講師	石井 久仁子 (54)	平成29年 4月	公衆衛生看護学特論	福川京子教授、石井久仁子講師が担当(29)				
専任	准教授	大植 由佳 (50)	平成29年 4月	ヘルスアセスメント						
				看護技術論Ⅰ(生活技術援助)				平成29年 4月	看護技術論Ⅰ(生活技術援助)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)
				看護技術論Ⅱ(診療技術援助)				平成29年 4月	看護技術論Ⅱ(診療技術援助)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)
				看護技術論Ⅲ(看護過程)						
				基礎看護学実習Ⅰ						
				基礎看護学実習Ⅱ						
				基礎ゼミ						
				看護研究Ⅰ(基礎編)				平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)
看護研究Ⅱ(応用編)				平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)				
看護の統合と実践実習										

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	柴田 順子 (64)	平成29年 4月	学校保健概論 基礎ゼミ						
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				学校保健活動論 学校保健演習 養護概説 教職実践演習 (養護教諭) 養護実習(事前事後指導を含む)						
専任	講師	天本 都 (63)	平成29年 4月	母性看護援助論 母性看護学実習						
				基礎ゼミ						
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
専任	講師	塩 霧都恵 (62)	平成29年 4月	成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人)			平成29年 4月	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人)			平成29年 4月	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ						
				基礎ゼミ						
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				リスクマネジメント論 看護の統合と実践 実習						
専任	講師	東 久子 (56)	平成29年 4月	在宅看護援助論 在宅看護実習						
				基礎ゼミ						
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	講師	西山 忠博 (52)	平成29年 4月	ヘルスアセスメント							
				看護技術論Ⅰ (生活技術援助)				平成29年 4月	看護技術論Ⅰ (生活援助技術)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)	
				看護技術論Ⅱ (診療技術援助)				平成29年 4月	看護技術論Ⅱ (診療補助技術)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)	
				看護技術論Ⅲ (看護過程)							
				基礎看護学実習Ⅰ							
				基礎看護学実習Ⅱ							
				基礎ゼミ							
				看護研究Ⅰ (基礎編)				平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)	
看護研究Ⅱ (応用編)				平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)					
				看護の統合と実践 実習							
専任	講師	中村 朋子 (51)	平成29年 4月	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系)							
				母性看護援助論							
				母性看護学実習							
				基礎ゼミ							
				看護研究Ⅰ (基礎編)				平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)	
				看護研究Ⅱ (応用編)				平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)	
				看護の統合と実践 実習							
専任	講師	大塚 千秋 (51)	平成29年 4月	成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人)				平成29年 4月	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)	
				成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人)				平成29年 4月	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)	
				成人看護学実習Ⅰ							
				成人看護学実習Ⅱ							
				基礎ゼミ							
				看護研究Ⅰ (基礎編)				平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)	
看護研究Ⅱ (応用編)				平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年 4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更 (29)					
				看護の統合と実践 実習							

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	和田 知世 (48)	平成29年 4月	成人看護学概論						
				成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人)			平成29年 4月	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人)			平成29年 4月	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ						
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護の統合と実践 実習						
専任	講師	大植 崇 (40)	平成29年 4月	災害看護学(災害 保健を含む)			平成29年 4月	災害看護学	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				基礎ゼミ						
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 看護の統合と実践 実習						
専任	助教	西原 かおり (54)	平成29年 4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ						
				看護研究Ⅰ (基礎編)			平成29年 4月	看護研究Ⅰ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護研究Ⅱ (応用編)			平成29年 4月	看護研究Ⅱ	平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)	
				看護の統合と実践 実習						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	助教	掛川 静代 (35)	平成29年4月	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活技術援助) 看護技術論Ⅱ(診療技術援助) 看護技術論Ⅲ(看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			後任未定	平成29年4月	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ(生活技術援助) 看護技術論Ⅱ(診療補助技術) 看護技術論Ⅲ(看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	掛川静代助教退職による担当者の変更 他に担当教員がいるため支障はない(29) 退職年月:平成29年3月 退職理由:家庭の事情による 他に担当教員がいるため支障はない(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29)
専任	助教	廣田 真里 (33)	平成29年4月	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ(生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ(常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅱ(応用編)	専任	講師	廣田 真里 (33)	平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月 平成29年4月	成人看護援助論Ⅰ(急性期) 成人看護援助論Ⅱ(慢性期) 看護研究Ⅱ	平成29年4月から廣田真里助教の講師昇任に伴うもの(29) 平成29年4月から指導教員調整のための担当教員変更(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29) 平成29年4月から指導教員調整のための担当教員変更(29) 他に担当教員がいるため支障はない(29) 平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29) 平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29) 平成29年4月から 科目名称表現方法統一のため 科目名称を変更(29)
					兼任	講師	石井 久仁子 (54)	平成29年4月	基礎ゼミ	平成29年4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)
兼任	教授	竹内 一夫 (72)	平成29年4月	社会福祉論 人間関係論(カウンセリングを含む) 家族関係論						
兼任	教授	真鍋 祐之 (64)	平成29年4月	栄養学(食品学を含む)	兼任	教授	細川 敬三 (62)	平成29年4月	栄養学(食品学を含む)	平成29年4月から 真鍋祐之兼任教授退職による担当者の変更(29) 退職年月:平成29年3月 退職理由:他大学への転出 平成29年4月から 真鍋祐之兼任教授退職による 担当者の変更(29)
					兼任	助教	宇野 裕美子 (35)	平成29年4月	栄養学(食品学を含む)	
兼任	教授	大平 曜子 (61)	平成30年4月	健康相談活動の理論と実践 教育心理学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	三宅 一郎 (60)	平成29年 4月	健康・スポーツ科学 I (講義)	兼任	講師	三宅 一郎 (60)	平成29年 4月	健康・スポーツ科学 I (講義)	平成29年 4月から 併設の短期大学へ異動 による兼任へ変更 (29)
					兼任	准教授	矢野 琢也 (48)	平成29年 4月	健康・スポーツ科学 I (講義)	平成29年 4月から 教育内容の充実のため 教員追加 (29)
				健康・スポーツ科学 II (演習)	兼任	准教授	樽本 つぐみ (49)	平成29年 4月	健康・スポーツ科学 II (演習)	平成29年 4月から 担当教員辞退のための 教員変更 (29)
				健康・スポーツ科学 III (演習)	兼任	准教授	樽本 つぐみ (49)	平成29年 10月	健康・スポーツ科学 III (演習)	平成29年 4月から 担当教員辞退のための 教員変更 (29)
兼任	教授	吉原 恵子 (60)	平成29年 4月	社会学						
兼任	教授	堀池 聡 (59)	平成29年 4月	コンピュータ演習						
兼任	教授	河野 真 (56)	平成30年 4月	保健医療福祉行政論						
兼任	教授	金子 哲 (55)	平成29年 4月	歴史学 地域文化論						
					兼任	教授	金子 哲 (55)	平成29年 4月	地域と文化財	平成29年 4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加 (29)
								平成29年 4月	地域資料を読む	平成29年 4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加 (29)
兼任	教授	古田 薫 (55)	平成29年 4月	教育原理	兼任	准教授	岡本 洋之 (56)	平成29年 4月	教育原理	平成29年 4月から 担当教員辞退のための 教員変更 (29)
				教育制度論						
兼任	教授	稲富 恭 (52)	平成29年 4月	色彩とデザイン						
					兼任	教授	稲富 恭 (52)	平成29年 4月	コンピュータグラフィックスの基礎	平成29年 4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加 (29)
								平成29年 4月	建築デザインと地域	平成29年 4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加 (29)
兼任	教授	石原 敬子 (51)	平成29年 4月	経済学						
兼任	教授	李 良姫 (50)	平成29年 4月	韓国語 (初級)						
					兼任	講師	高 秀美 (42)	平成29年 4月	韓国語 (初級)	平成29年 4月から 教育内容の充実のため 教員追加 (29)
				韓国語 (中級)						
					兼任	講師	高 秀美 (42)	平成29年 4月	韓国語 (中級)	平成29年 4月から 教育内容の充実のため 教員追加 (29)
兼任	教授	北島 律之 (48)	平成29年 4月	心理学						
					兼任	教授	北島 律之 (48)	平成29年 4月	兵庫大学の学びと和	平成29年 4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加 (29)
兼任	准教授	斎藤 正寿 (55)	平成29年 4月	国際関係論 政治学						
兼任	准教授	原 志津 (52)	平成29年 4月	教育相談 (カウンセリングを含む)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	西田悦雄 (51)	平成29年4月	コンピュータ演習						平成29年4月から 担当教員辞退のための 教員変更(29)
					兼任	教授	堀池聡 (59)	平成29年4月	コンピュータ演習	平成29年4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)
					兼任	准教授	穂積隆広 (47)	平成29年4月	コンピュータ演習	平成29年4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)
					兼任	准教授	佐竹邦子 (47)	平成29年4月	コンピュータ演習	平成29年4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)
兼任	准教授	佐藤隆 (51)	平成29年4月	生物学						
兼任	准教授	本多彩 (39)	平成29年4月	宗教と人生 仏教と現代社会 比較文化論						
					兼任	准教授	本多彩 (39)	平成29年4月	兵庫大学の学びと和	平成29年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(29)
					兼任	准教授	佐竹邦子 (47)	平成29年4月	コンピュータグラフィックスの基礎	平成29年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(29)
					兼任	准教授	沖野光二 (47)	平成29年4月	現代社会の理解	平成29年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(29)
					兼任	准教授	穂積隆広 (47)	平成29年4月	身のまわりの科学	平成29年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(29)
兼任	講師	平本幸治 (56)	平成29年4月	英語	兼任	講師	Michael H. Fox (60)	平成29年4月	英語	平成29年4月から 担当教員辞退のための 教員変更(29)
					兼任	講師	廣間準一 (67)	平成29年4月	英語	平成29年4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)
					兼任	講師	野崎一恵 (55)	平成29年4月	英語	平成29年4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)
兼任	講師	嶋津裕子 (56)	平成29年4月	食と健康						
兼任	講師	湯瀬晶文 (48)	平成30年4月	保健統計学	兼任	講師	湯瀬晶文 (47)	平成29年4月	身のまわりの科学	平成29年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(29)
兼任	講師	大藤隆彦 (71)	平成29年4月	化学基礎	兼任	講師	天野智博 (62)	平成29年4月	生物基礎	平成29年4月から 担当教員辞退のための 教員変更(29)
兼任	講師	砂子滋美 (70)	平成29年4月	教職概論						
兼任	講師	新井野久男 (70)	平成30年4月	教育課程論(道徳・特別活動を含む) 生徒指導論						
兼任	講師	田中貞之 (70)	平成29年4月	生物基礎	兼任	講師	市村豊 (70)	平成29年4月	生物基礎	平成29年4月から 担当教員辞退のための 教員変更(29)
兼任	講師	田村淳 (70)	平成29年4月	生物基礎	兼任	講師	立谷正樹 (68)	平成29年4月	生物基礎	平成29年4月から 担当教員辞退のための 教員変更(29)
兼任	講師	岩見健二 (69)	平成29年4月	芸術						
兼任	講師	立谷正樹 (68)	平成29年4月	化学基礎						
兼任	講師	谷口武 (66)	平成29年4月	化学基礎						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	笹田 哲男 (65)	平成29年4月	日本国憲法						
兼任	講師	三上 嘉代子 (64)	平成29年4月	私のためのキャリア設計						
兼任	講師	阿部 真幸 (63)	平成29年4月	化学						
兼任	講師	修 暁寧 (62)	平成29年4月	中国語(初級) 中国語(中級)						
兼任	講師	片山 俊郎 (62)	平成29年4月	生化学						
兼任	講師	米谷 昌彦 (61)	平成30年4月	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系)						
兼任	講師	南川 博康 (57)	平成29年4月	精神保健 精神看護学概論						
兼任	講師	吉永 潤 (57)	平成30年4月	教育方法・技術論						
兼任	講師	安井 重雄 (55)	平成29年4月	文学	兼任	講師	野田 直恵 (55)	平成29年4月	文学	平成29年4月から 担当教員辞退のための 教員変更(29)
兼任	講師	野田 直恵 (55)	平成29年4月	日本語(読解と表現)						
兼任	講師	三浦 摩美 (53)	平成29年4月	哲学						
兼任	講師	根川 幸男 (53)	平成29年4月	国際理解と宗教Ⅰ (キリスト教)	兼任	講師	野世 英水 (59)	平成29年4月	国際理解と宗教Ⅰ (キリスト教)	平成29年4月から 担当教員辞退のための 教員変更(29)
兼任	講師	重親 知左子 (50)	平成29年4月	国際理解と宗教 (イスラム教)						
兼任	講師	辻本 恭子 (47)	平成29年4月	日本語(読解と表現)						
兼任	講師	豊福 一 (39)	平成29年4月	法と社会						
兼任	講師	岩本 智依 (38)	平成29年4月	人権の歴史						
兼任	講師	松盛 美紀子 (38)	平成29年4月	実用英語Ⅰ						平成29年4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)
					兼任	講師	Michael H. Fox (60)	平成29年4月	実用英語Ⅰ	平成29年4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)
					兼任	講師	笹平 康弘 (60)	平成29年4月	実用英語Ⅰ	平成29年4月から 教育内容の充実のため 教員追加(29)
				実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ						
兼任	講師	本多 真 (37)	平成29年4月	生命倫理学						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
10	5	9	3	27	13	2	11	1	27	13	2	11	1	27
(10)	(5)	(9)	(3)	(27)						[3]	[Δ3]	[2]	[Δ2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
67 歳	4 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	小島 賢子	必修	小児看護学概論	①	他大学への転出希望のため依願退職（29）			
			必修	小児看護援助論	①				
			必修	小児看護学実習	①				
			必修	基礎ゼミ	①				
			必修	看護研究Ⅰ	①				
			必修	看護研究Ⅱ	①				
2	准教授	瀧本 茂子	必修	老年看護学概論	①	体調不良による依願退職（29）			
			必修	老年看護援助論	①				
			必修	老年看護学実習Ⅰ	①				
			必修	老年看護学実習Ⅱ	①				
			必修	基礎ゼミ	①				
			必修	看護研究Ⅰ	①				
3	准教授	久井 志保	必修	保健福祉行政論	①	休職期間満了に伴う依願退職（29）			
			必修	公衆衛生看護学概論	①				
			必修	健康教育論	①				
			必修	基礎ゼミ	①				
			必修	看護研究	①				
			必修	看護研究Ⅰ	①				
			必修	看護研究Ⅱ	①				
			必修	看護の統合と実践実習	①				
			選択	公衆衛生看護学活動展開論	①				
			選択	産業保健論	①				
			選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①				
			選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①				
			選択	公衆衛生看護学特論	①				
			4	助教	掛川 静代		必修	ヘルスアセスメント	①
必修	看護技術論Ⅰ（生活技術援助）	①							
必修	看護技術論Ⅱ（診療技術援助）	①							
必修	看護技術論Ⅲ（看護過程）	①							
必修	基礎看護学実習Ⅰ	①							
必修	基礎看護学実習Ⅱ	①							
必修	基礎ゼミ	①							
必修	看護研究Ⅰ	①							
必修	看護研究Ⅱ	①							
必修	看護の統合と実践実習	①							
合計（A）				後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
4	人	必修	33 科目	必修	33 科目	必修	- 科目	必修	- 科目
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目
		計	38 科目	計	38 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
						該当なし	
合計 (C)				後任補充状況の集計 (D)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	- 科目	必修	- 科目	必修	- 科目
		選択	- 科目	選択	- 科目	選択	- 科目
		自由	- 科目	自由	- 科目	自由	- 科目
		計	- 科目	計	- 科目	計	- 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)			
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
4	必修	33 科目	必修	33 科目	必修	0 科目
	選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	38 科目	計	38 科目	計	0 科目

- (注) ・ 就任辞退 (未就任) 及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

小島賢子准教授、久井志保准教授は同分野の教授職が就任した。瀧本茂子准教授、掛川静代助教は同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年7月)	現代ビジネス学部現代ビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項 昨年度は教員と事務職員による高校訪問の実施に加え、出前授業（アカデミックレクチャー）を新規で実施した。さらに学科主催の高校生向けイベントである「第2回現代ビジネスプラン・コンペ」を実施するなど、募集活動及び学科の周知活動を展開し、志願者の増加（昨年の1.39倍）にはつながったが、学生確保に至らなかった。 今年度は、附属校及び出願・入学実績校のある重点校への営業訪問や出前授業（アカデミックレクチャー）を積極的に実施し、学科の教育内容や特色などについて高校生等を中心に魅力を伝えていく。また、高校や塾、予備校などとの関係親密化を図るとともに、オープンキャンパスの改善を図り、学生確保に努める。（29）	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SD推進委員会規程(別紙1)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>第1回 平成28年6月9日(木) 出席7名 第2回 平成28年7月7日(木) 出席11名 第3回 平成28年8月3日(水) 出席13名 第4回 平成28年10月13日(木) 出席13人 第5回 平成28年11月9日(水) 出席10名 第6回 平成28年12月15日(木) 出席11名 第7回 平成29年3月2日(水) 出席13名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>第1回 (1) FD・SD推進委員会委員について (2) FD・SD推進委員会規程(案)について (3) 平成27年度FD活動事業について (4) 平成28年度FD・SD活動事業計画(案)について (5) 授業アンケートの設問項目の変更について</p> <p>第2回 (1) 平成28年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について ① 新任教職員研修 ② 初年次教育の実施状況把握 ③ 授業アンケート ④ ふりかえりシート ⑤ 授業公開 ⑥ 教員カフェ</p>

- ⑦アクティブラーニング研修会
- ⑧アクティブラーニング訪問調査総括
- ⑨FD・SD通信
- (2) 大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開について

- 第3回
- (1) 平成28年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
 - ①新任教職員研修
 - ②初年次教育の実施状況把握
 - ③授業アンケート
 - ④ふりかえりシート
 - ⑤授業公開
 - ⑥教員カフェ
 - ⑦アクティブラーニング研修会
 - ⑧アクティブラーニング訪問調査総括
 - ⑨FD・SDニュースレターの発行
 - (2) 平成28年度Ⅰ期授業公開結果報告について
 - (3) 平成28年度事務職員研修の実施について
 - (4) 企画「教授法が大学を変える（第5回）」の参加について

- 第4回
- (1) 平成28年度事務職員研修の実施結果について
 - (2) 平成28年度FD・SD活動実施計画の進捗状況について
 - ①初年次教育の実施状況把握
 - ②授業公開
 - ③教員カフェ
 - ④アクティブラーニング研修会
 - ⑤FD・SDニュースレター（No.1）の発行
 - (3) 企画「教授法が大学を変える（第5回）」の応募について

- 第5回
- (1) 平成28年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
 - ①初年次教育の現状報告
 - ②教員カフェ実施報告
 - ③アクティブラーニング研修会

- 第6回
- (1) 平成28年度事業報告について
 - ①初年次教育の実施状況把握
 - ②第2回「教職員カフェ」実施報告
 - ③第1回「アクティブラーニング研修会」
 - (2) 今後の事業実施について
 - ①第2回「アクティブラーニング研修会」開催案
 - ②第3回「教職員カフェ」開催案
 - ③FD・SDNewsletter（No.2）の発行
 - ④授業公開の実施状況
 - ⑤授業アンケート（Ⅱ期）実施
 - ⑥ふりかえりシート

- 第7回
- (1) 平成28年度授業公開実施報告
 - (2) 初年次教育の状況把握と今後の課題
 - (3) FD・SDNewsletter（No.2）の発行
 - (4) 第4回AL研修会・第3回教職員カフェ
 - (5) 平成29年度新任教職員研修（案）

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業アンケート（期末）
- ・ ふりかえりシート（ディプロマポリシーに基づいて身につける能力の自己評価）
- ・ 授業公開（教員相互の授業参観）
- ・ AL研修会（アクティブ・ラーニング等に関する研修会）
- ・ 教職員カフェ（ワークショップ形式およびフリーディスカッション等）
- ・ FD・SD通信発行
- ・ 新任教職員研修会

b 実施方法

- ・ 授業アンケート（期末）
期末（7月、1月）に授業アンケートを実施
- ・ ふりかえりシート（ディプロマポリシーに基づいて身につける能力の自己評価）
平成28年度Ⅰ期及びⅡ期の成績表配布時等に実施
- ・ 授業公開（教員相互の授業参観）
学科ごとに公開期間、公開科目を設定し教員相互の授業参観を実施
教員一人が少なくとも1回は授業参観を行うこととして実施
- ・ AL研修会（アクティブ・ラーニング等に関する研修会）
企画内容を全学教職員に対し、実施内容等をチラシ等にて周知し2回実施
第1回 平成28年11月30日「ラーニングコモンズの活用について」
第2回 平成29年 3月 1日「アクティブ・ラーニング（AL）とアクティブ・ティーチング（AT）
～大学教職員の挑戦～」
- ・ 教職員カフェ（ワークショップ形式およびフリーディスカッション等）
「学生の現在（いま）を知る ～みんなで語ろう～」を実施
第1回及び第2回のAL研修会後のフリーディスカッションの場として実施
- ・ FD・SD通信発行
「兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SDニュースレター」を年2回発行
- ・ 新任教職員研修会
年度初めに新任教職員対象に「新任教職員研修プログラム」を実施
全教職員対象の講演会を第一部として実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業アンケート（期末）
・ 実施時期
Ⅰ期期末：平成28年7月11日～授業終了日に全科目実施（一部演習・実習科目を除く）
Ⅱ期期末：平成29年1月6日～授業終了日に全科目実施（一部演習・実習科目を除く）
- ・ 教員や学生への公開方法等
各教員へ結果を配付し集計結果をインターネットにおいて公表
- ・ 授業公開（教員相互の授業参観）
平成28年7月11日（月）、12日（火）、13日（水）、公開科目数 6科目
平成28年10月5日（木）～平成29年2月3日（金）公開科目数 142科目（延べ参観者54人）
- ・ AL研修会（アクティブ・ラーニング等に関する研修会）
第1回 平成28年11月30日（木）…参加者52人
第2回 平成29年3月1日（水）…参加者42人
- ・ ふりかえりシート（ディプロマポリシーに基づいて身につける能力の自己評価）
全学科2～4年次生のみ対象として実施・回収
- ・ 教職員カフェ（ワークショップ形式およびフリーディスカッション等）

- 第1回 平成28年10月13日（木）…参加者23人
- 第2回 平成28年11月30日（水）…参加者31人
- 第3回 平成29年3月1日（水）…参加者27人

- ・ FD・SD通信発行

No.1発行：平成28年9月30日（金）

No.2発行：平成29年3月10日（金）

- ・ 新任教職員研修会

平成29年4月2日（土）、4日（月）実施

「第一部」参加状況…参加者114人（教員95人、職員19人）

「第二部」「第三部」参加状況…参加者27人（教員17人、職員10人）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業アンケートおよびふりかえりシートを実施することにより、学修状況、学修成果を把握した。

「3つのポリシーの見直しと運用」に関わり、新しい評価方法の導入へと移管される予定である。

これを受け、平成28年度の「ふりかえりシート」は2～4年次のみ実施した。

また、AL研修を実施することで、各教職員の教育の質向上に対する意識を高めることができた。

FD・SD活動の基盤となる情報交換・交流の場として教職員カフェを開催し、自由な雰囲気のもと、学科間や教職員間のコミュニケーションの輪が広がりにつつある。

新任教職員研修会では、当該年度の重要な教育改革課題を認識し、FD・SD活動を促進する目的で、

「第一部」を設定し、高い参加率となった。授業公開は「教員一人が少なくとも1回は授業参観を行うこと」として実施したが、参加率は低調なものとなった。

「FD・SDニュースレター」の発行により、「FD・SD活動が分かりやすくなった」との声が寄せられている。今後、教職員間のコミュニケーションツールとしても積極的に活用されることが期待される。

全活動を通して、教員相互に、また教職員間において、実質的な授業改善に関する意識と技術を高めるとともに、教育の質向上に取り組む環境づくりを推進できた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有 I 期期末：平成28年7月11日～授業終了日

II 期期末：平成29年1月6日～授業終了日

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へ結果を配付し、集計結果は、インターネットを通じて公表している。

（学内からのみ閲覧可）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年4月3日

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に認証評価機関「日本高等教育評価機構」において受審済。

・次回受審年度は平成35年度までに受審する予定で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 10月 1日)